



新宿区

暮らしやすさ
1番の新宿

平成28年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成28年2月17日(水)

事業名	認知症高齢者への支援体制の充実	予算(案)の概要 61 ページ
予算額	19,941千円 (新規・拡充) (前年度予算額 6,315千円)	
取材先	福祉部高齢者福祉課長 齊藤 (電話 03-5273-4598) 健康部保健予防課長 渡部 (電話 03-5273-3849)	

認知症高齢者への支援体制の充実

1 目的

高齢者が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症高齢者の早期発見・早期診断体制を推進するとともに、相談体制の充実や認知症についての正しい知識の普及を図る。

2 事業内容

- (1) 認知症高齢者の早期発見・早期診断体制の推進 予算額 12,618千円 (介護保険特別会計)
- (ア) 認知症初期集中支援チームの設置 (9か所) <新規>
複数の専門職が、認知症の疑われる方やその家族を訪問し、初期支援を行うチームを設置
 - (イ) (仮称) 認知症診療連携マニュアルの作成 <新規>
医療を中心に、福祉・介護それぞれの分野との連携を踏まえた、認知症高齢者への対応方法を示すマニュアルを作成
- (2) 認知症高齢者支援の推進 予算額 7,323千円 (一般会計)
- (ア) 認知症サポーター養成講座の実施 (定例・出前) と活動拠点の整備 (3か所→6か所)
 - (イ) 認知症の正しい理解に向けた普及啓発
地域版認知症ケアパスの作成・普及 <新規>
 - (ウ) 認知症医療・地域福祉連携強化事業 (医師会委託)
 - (エ) もの忘れ相談・認知症相談 (各18回)
 - (オ) 認知症介護者相談 (12回)

認知症高齢者への支援体制の充実 (福祉部)

認知症高齢者への支援

- 認知症初期集中支援チームを9か所設置 (新規)
- もの忘れ相談・認知症相談



認知症サポーター養成・支援

- 認知症サポーター養成
- 認知症サポーター活動拠点 (拡充) 3か所→6か所



普及啓発

- 地域版認知症ケアパスの作成・普及 (新規)



認知症介護者支援

- 認知症介護者相談



認知症に関する医療と福祉・介護の連携強化

- (仮称) 認知症診療連携マニュアルの作成 (新規)
- 認知症医療・地域福祉連携強化事業

東ブロック



四谷 筆筒町 榎町

中央ブロック



若松町 大久保 戸塚

西ブロック



落合第一 落合第二 柏木・角筈

地域型高齢者総合相談センター

【認知症初期集中支援チーム9か所設置】



後方支援

基幹型高齢者総合相談センター(高齢者福祉課)

認知症の予防・早期発見と相談支援 (健康部)

- 認知症 (若年性認知症も含む) の予防と早期発見 (予算額: 1,180千円)
 - 認知症及び若年性認知症予防リーフレットの特定健診票への同封による送付
- 若年性認知症に関する保健センターでの相談支援
 - 若年性認知症が疑われる方やその家族に対する、早期に医療機関へとつなげるための支援
 - 若年性認知症と診断された方に対する、医療費助成や各種サービスの紹介等